

# 第6回 練馬稲門会 ニューイヤーコンサート

2012年1月21日(土) 練馬文化センター大ホール

## 曲目のご紹介

・ ワーグナー / 歌劇「ニュルンベルクのマイスターシンガー」より第1幕への前奏曲

ワーグナーの最も有名な作品です。地方から来た貴族、ワルターが想いを寄せる女性エーファをめぐり、親方歌手と歌合戦を繰り広げる喜劇的な物語が表されています。

・ モーツァルト / フルート協奏曲第2番二長調 K.314

モーツァルトの代表作であるだけでなく、協奏曲というジャンルの代表作でもあり、明るく楽しいフルートの魅力を存分に味わえる曲となっています。

・ ウェーバー(ベルリオーズ編曲) / 舞踏への勧誘

この曲はウェーバーが妻カロリーネのために作った曲であり、舞踏会での紳士と淑女の対話を表しています。オリジナルはピアノ曲で、後にベルリオーズがオーケストラ編曲をしました。

・ ベートーヴェン / 交響曲第6番「田園」より第1楽章

「田園」という標題をもった、5楽章構成の型にはまらぬ伸びやかな交響曲です。

・ R.シュトラウス / 交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」作品28

14世紀のドイツに実在したと言われるならず者、ティル・オイレンシュピーゲルという人物の伝説をベースに書かれた曲です。ティルの波乱万丈の人生を抑揚豊かに表現しています。

・ 由谷一幾 / 和太鼓と管弦楽のための協奏曲

早稲田大学交響楽団のOBである由谷一幾氏によって作曲されました。三名の和太鼓奏者のための協奏曲です。

・ 外山雄三 / 管弦楽のためのラブソディ

1960年のNHK交響楽団海外公演に際して外山雄三によって作曲されました。曲は日本の民謡を題材にしており、和太鼓なども用いられています。

・ ドヴォルザーク / スラブ舞曲第1番八長調

スラブ民族であるチェコ人の音楽家ドヴォルザークによって作曲されました。今回演奏する第一曲は「フリアント」と呼ばれるボヘミア地方の舞曲をモチーフにしています。